

金融商品取引法 I

科目ナンバリング NFL-303
選択 2単位

首藤 優

1. 授業の概要(ねらい)

連日、東京証券取引所の日経平均株価がニュースで報じられています。この東京証券取引所を代表例とする資本市場が、我が国の経済活動を支えています。国民の活発な資産運用を促し、企業の円滑な資金調達を確保するためには、健全かつ公正な資本市場が確立されている必要があります。そのために定められているのが金融商品取引法です。本講座では、金融商品取引法について説明していきます。
なお、本講座では、金融商品取引法に関する最新のニュース・事件について随時紹介・解説を加えるとともに、会社法等との比較も行いながら説明を加えていくことを予定しております。

2. 授業の到達目標

- ① 民事法系を中心とする総合的な法律である金融商品取引法を理解し、その基本的なことを説明できるようになること。
- ② 重要な論点や判例を理解し、説明できるようになること。
- ③ 金融商品取引法に関する事件・ニュースについて分析・検討し、解決を導き出せるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験+小テスト(2回実施予定)
期末試験:80%、小テスト:20%
授業内において解説あり

4. 教科書・参考文献

教科書

近藤光男他 『基礎から学べる金融商品取引法』[第4版] 弘文堂

参考文献

黒沼悦郎 『金融商品取引法入門』[第8版] 日本経済新聞社
『金融商品取引法判例百選』 有斐閣

5. 準備学修の内容

事前の段階で該当するテキスト部分を読み、疑問点等を洗い出し、ノート等にまとめてください。受講後には、授業内容(重要な論点等)をノート等にまとめるとともに、事前に洗い出した問題点等の解消を図ってください。

6. その他履修上の注意事項

会社法を履修済みまたは同時履修が望ましいです。
法律の解釈ですので、六法は必ず授業に持参してください。
授業中に他の方への迷惑となる行為はしないように心掛けてください。
金融商品取引法 I IIの継続履修が望ましいです。
経済に関するニュースに興味を持って接していただけると嬉しいです。

7. 授業内容

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス |
| 【第2回】 | 金融商品取引法総論その1 資本市場の基本的な仕組み |
| 【第3回】 | 金融商品取引法総論その2 金融商品取引法の目的と概要 |
| 【第4回】 | 金融商品取引法総論その3 金融商品取引法の適用範囲 |
| 【第5回】 | 有価証券の取引方法その1 有価証券の上場 |
| 【第6回】 | 有価証券の取引方法その2 取引の仕組み、決済方法 |
| 【第7回】 | 発行開示制度その1 開示制度総論 |
| 【第8回】 | 発行開示制度その2 募集、売出し目論見書、簡易な発行開示 |
| 【第9回】 | 発行開示制度その3 有価証券届出書の提出 |
| 【第10回】 | 発行開示制度その4 目論見書、簡易な発行開示 |
| 【第11回】 | 継続開示制度その1 継続開示制度の必要性和概要 |
| 【第12回】 | 継続開示制度その2 継続開示制度の内容 |
| 【第13回】 | 継続開示制度その3 財務情報の正確性の確保その1 総論、内部統制制度 |
| 【第14回】 | 継続開示制度その4 財務情報の正確性の確保その2 監査制度 |
| 【第15回】 | まとめ |
- ※進捗状況に応じて変更する可能性があります。